

財政学習教材

日本の**財政**を考えよう

国のお財布事情を知っていますか？

私たち一人ひとりの将来にかかわる日本の「おカネ」の問題について、一緒に考えてみませんか。



令和8年4月

目次

1.	「 ^{ざいせい} 財政」とは	2
2.	国の「 ^{さいしゅつ} 歳出」	3
3.	「 ^{しゃかいほしょう} 社会保障」への支出	4
4.	社会保障以外の主な支出	5
5.	国の「 ^{さいにゅう} 歳入」	7
6.	「税」の種類	8
7.	国の「歳出」と「 ^{ぜいしゆ} 税収」の推移	9
8.	国の借金の状況	10
9.	借金の国際比較	11
10.	「借金」の主な問題点	12
11.	なぜ「借金」が増えたのか	13
12.	高齢化と社会保障給付費の増加	14
13.	社会保障の給付と負担の関係	15

1. 「^{ざいせい}財政」とは

- 私たちが健康で豊かな生活を送るためには、国や県、市町村などに、学校教育や医療^{いりょう}など、様々な「公共サービス」を提供してもらう必要があります。
- しかし、国などが公共サービスを提供するにはお金が必要です。そのためのお金を国民みんなが出し合^{ざいせい}って（税金）、みんなの生活に役立つことに使^{ざいせい}っていく活動を「財政」といいます。

(公共サービスの例)

① 学校で勉強するために

公立学校に通う児童生徒
1人当たりの教育費

- 小学校 : 約103万円
- 中学校 : 約115万円
- 高等学校 : 約126万円
(全日制)



② 少ない負担で治療^{ちりょう}を受けられるようにするために

医療費 (国民1人当たり)

- 64歳以下 : 約 2.7万円
- 65~74歳 : 約 7.6万円
- 75歳以上 : 約31.9万円



③ 生活に必要な道路、 洪水を防ぐ堤防などを整備するために

- 18.9兆円
⇒ 国民1人当たり約15.3万円



④ 町をきれいにするために

- 2.9兆円
⇒ 国民1人当たり約2.4万円



⑤ 犯罪や事故から人びとを守るために

- 3.5兆円
⇒ 国民1人当たり約2.8万円



⑥ 火事から人びとを守るために

- 2.3兆円
⇒ 国民1人当たり約1.8万円



(注) ①・②は2023年度、③~⑥は2024年度の金額。

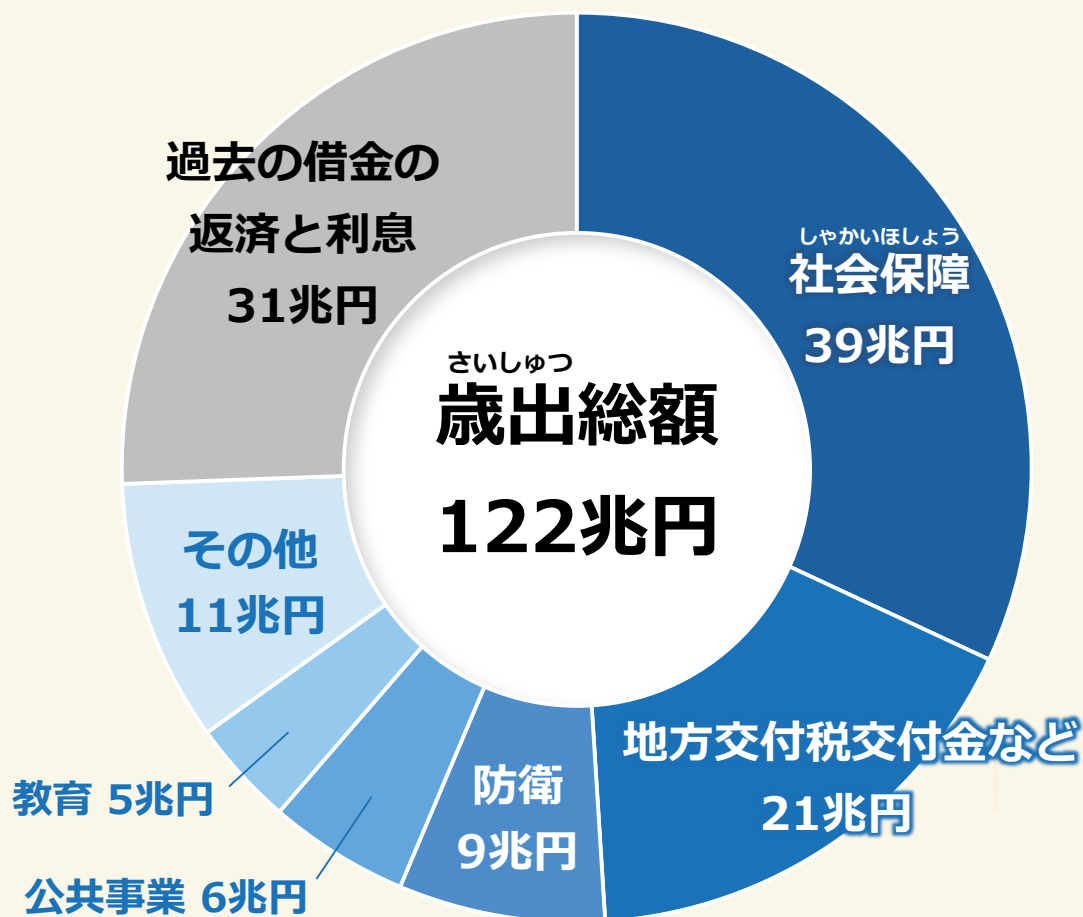
国の1年間の「支出」を見てみよう!



2. 国の「歳出」^{さいしゅつ}

- 国の1年間の支出を「歳出」^{さいしゅつ}とといいます。
- 内訳を見ると、医療^{いりょう}、年金^{かいく}、介護^{かいご}などの費用である「社会保障」^{しゃかいほしょう}と「過去の借金の返済と利息」が、いずれも全体の約3割となっています。

2026年度の歳出（予算）



「予算」とは

予算とは、1年間（4月～翌年3月）に国に入るお金（歳入^{さいにゅう}）と使い道（歳出）の予定を示した計画のことをいいます。

「社会保障」の中身を見てみよう！



3. 社会保障への支出

- 国が1年間で使うお金（歳出）のうち、最も大きい割合を占める支出は、「社会保障」の39兆円で、医療、年金、介護、生活保護、子ども・子育てのための費用などに使われています。

13兆円

医療

けがや病気で病院に行ったときに、少ない治療費で済むように、国が一部支援をしています。



14兆円

年金

高齢者の老後の生活などを支えるための「年金」について、国が一部支援をしています。



4兆円

介護

介護が必要になった時に、少ない負担でサービスを受けられるように、国が一部支援しています。



5兆円

生活保護

病気や障害で働けず、生活に困っている人などが最低限度の生活を送れるよう支援しています。



4兆円

子ども・子育て

保育所を整備したり、子育て世代に手当を交付したりすることで、子どもを安心して生み、育てることができるよう支援しています。



(注) 内訳の金額は一部重複している場合があります。

「社会保障」とは

私たちの人生には、自分や家族の病気、障害、失業、死亡などにより、自立した生活が困難になるリスクが潜んでいます。また、誰にも自分の寿命はわからないため、老後の生活費が不足するリスクもあります。このような、個人之力だけでは備えることに限界がある生活上のリスクに対して、社会全体で助け合い、支えようとする仕組みを「社会保障」といいます。

「社会保障」以外の支出も見てみよう！



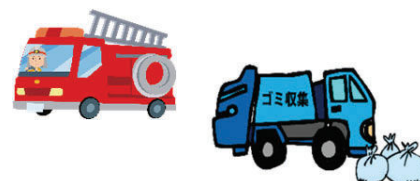
4. 社会保障以外の主な支出

- 「社会保障」の次に大きな支出として、地方公共団体（都道府県や市区町村）の財政を補うために、国が調整して地方公共団体に渡すお金である「地方交付税交付金」などに21兆円が使われています。
- また、国を守ってくれる自衛隊の運営に9兆円、道路整備などの公共事業に6兆円、学校教育などに必要な費用に5兆円が使われています。

21兆円

地方交付税
交付金など

地方公共団体が提供する警察や消防、ごみ収集などの公共サービスについて、日本のどこに住んでいても一定のサービス水準が維持されるよう、地方公共団体の財政を補うために、国が調整して必要な費用を配分しています。



9兆円

防衛

戦争や災害が起きたときに日本の国民や領土を守る役目がある自衛隊の運営に使われています。



6兆円

公共事業

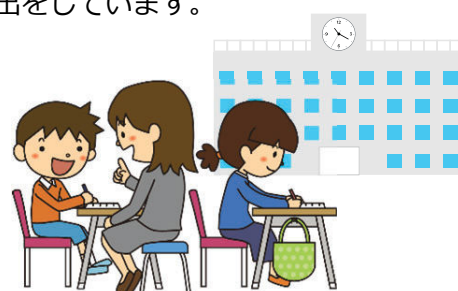
道路や河川の堤防、ダム建設・整備など、安全で暮らしやすい環境をつくるために使われています。



5兆円

教育

小中学校の児童生徒が使用する教科書の無料配布や、教職員の給料の一部負担など、教育に関する様々な支出をしています。



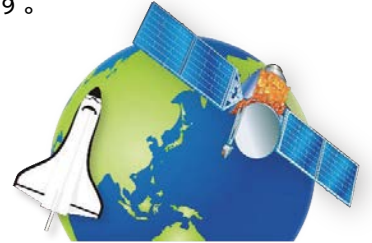
- このほか、科学技術の研究や食料・エネルギーの安定的な供給、開発途上国への支援など様々なものに多くのお金が使われています。

1.4兆円

科学技術
しんこう
振興



人工衛星を飛ばすためのロケット開発や、新しいエネルギーや防災技術の開発など、科学技術の発展のために使われています。



1.3兆円

食料安定
供給



おいしい農産物を食卓に安定的に届けたり、農業の生産性を高めるために使われています。



0.8兆円

エネルギー
対策



省エネルギーや再生可能エネルギーの技術開発や、石油・天然ガスなどを安定的に送るための調査研究などに使われています。



0.5兆円

経済協力



開発途上国に資金援助をして、橋や道路を整備したり、子どもたちが医療や教育を受けられるようにしています。



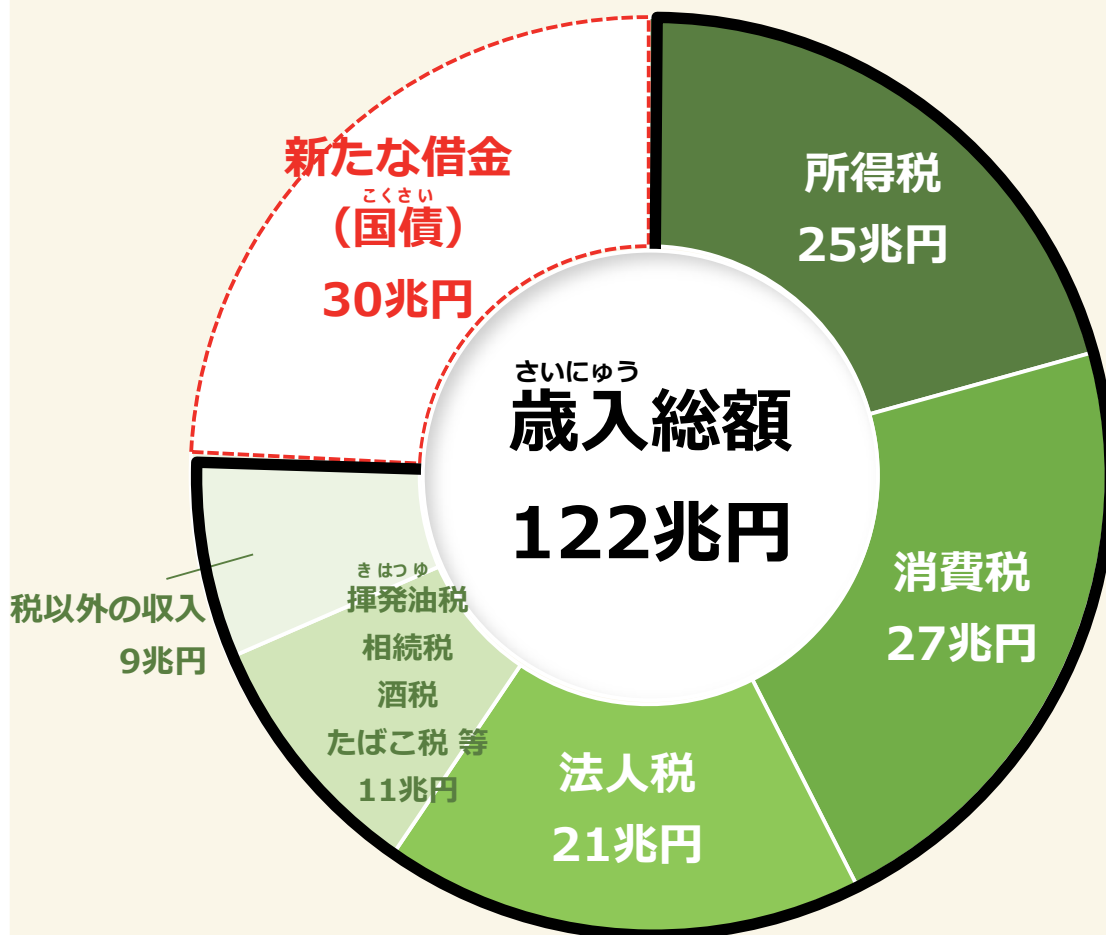
国の1年間の「収入」を見てみよう！



5. 国の「歳入」^{さいにゅう}

- 国の1年間の収入を「歳入」^{さいにゅう}といます。
- 本来、その年の歳出はその年の税金などで賄^{まかな}うべきですが、国の歳入のうち、税金などでは約4分の3しか賄^{まかな}えていないため、残りの足りない分（約4分の1）は、新たに借金することで補っています。

2026年度の歳入（予算）



「税」の種類を見てみよう！



6. 「税」の種類

- 代表的な「税」は、所得税、消費税、法人税であり、これらの合計で税収の大半を占めています。
- このほかにも、揮^{きはつゆ}発油税、相続税、酒税、たばこ税などの様々な税があります。

① 個人の給料などから払う
所得税 (25兆円)



② 買い物をするときなどに払う
消費税 (27兆円)



③ 会社が利益から払う
法人税 (21兆円)



④ ガソリンなどを買うときに払う
揮^{きはつゆ}発油税 (1.0兆円)



⑤ 財産を相続するとき払う
相続税 (3.8兆円)



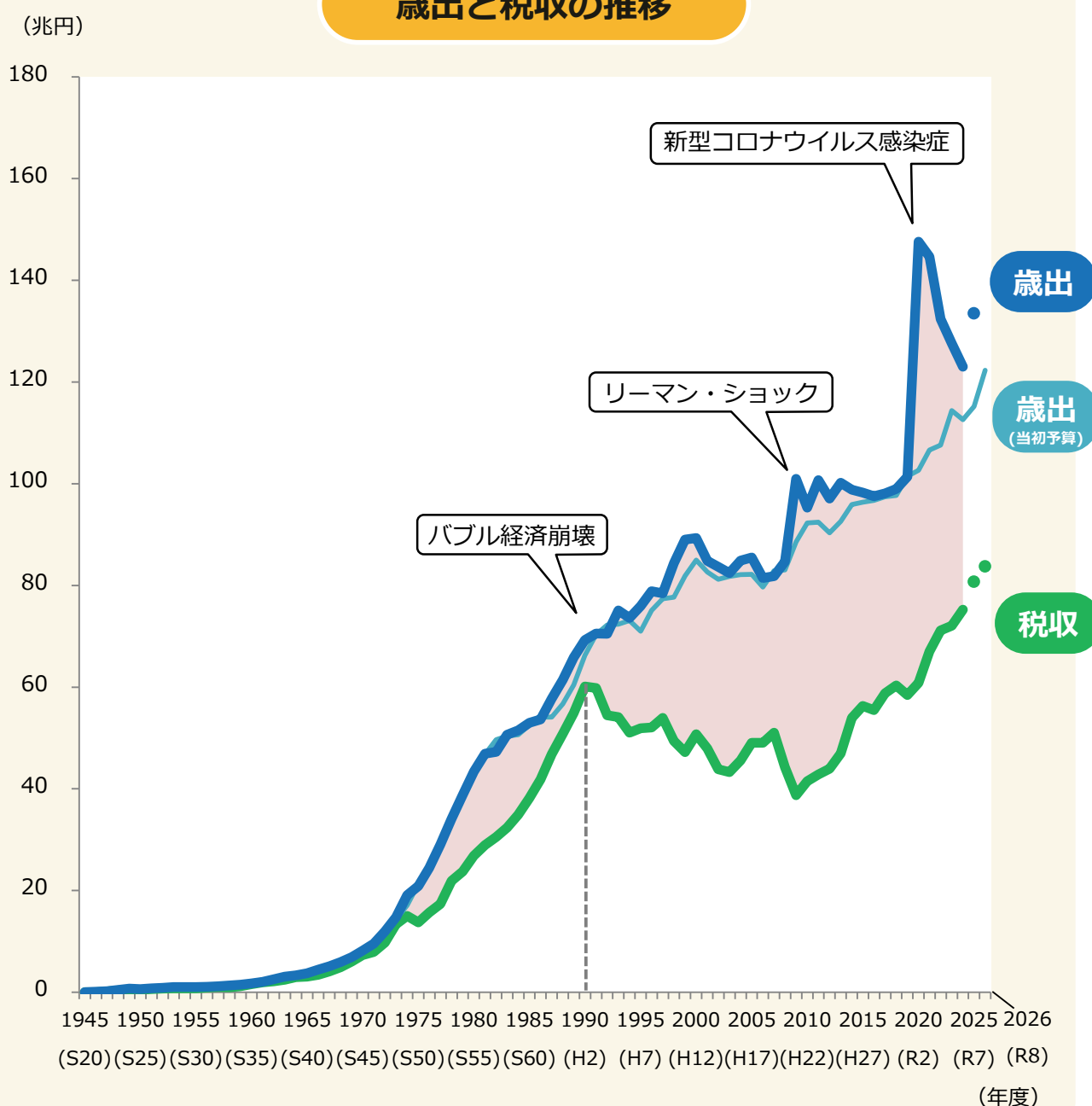
⑥ お酒やたばこを買うときに払う
酒税 (1.1兆円)
たばこ税 (1.0兆円)



7. 国の「歳出」と「税収」の推移

- これまで、「歳出」が増え続ける一方、「税収」は1990年度を境に伸び悩み、その差は大きく開いてしまいました。
- そして、その差の多くは、国が借金をして穴埋めしてきました。
- 直近では、新型コロナウイルス感染症や物価高騰等への対応のため、歳出がさらに増えています。

歳出と税収の推移

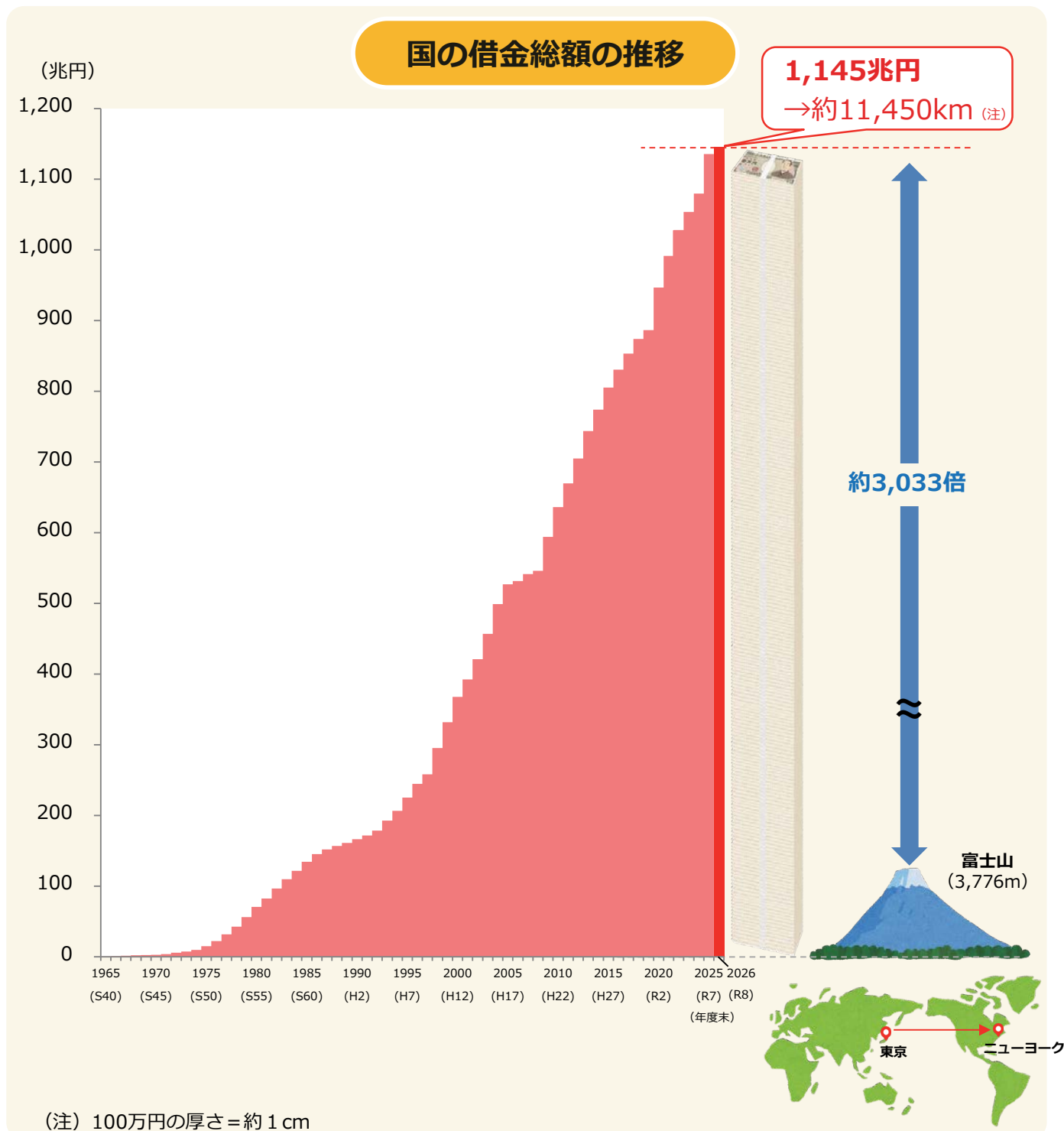


国の借金の状況を見てみよう！



8. 国の借金の状況

- 毎年借金を続けた結果、国の借金総額は大きく膨らんでいます。2026年度末の国の借金総額は、1,145兆円に達する見込みです。
- この借金総額は1万円札にして積み上げると、約11,450kmの高さとなり、富士山の約3,033倍です。横にすると、東京からニューヨークに届く距離です。



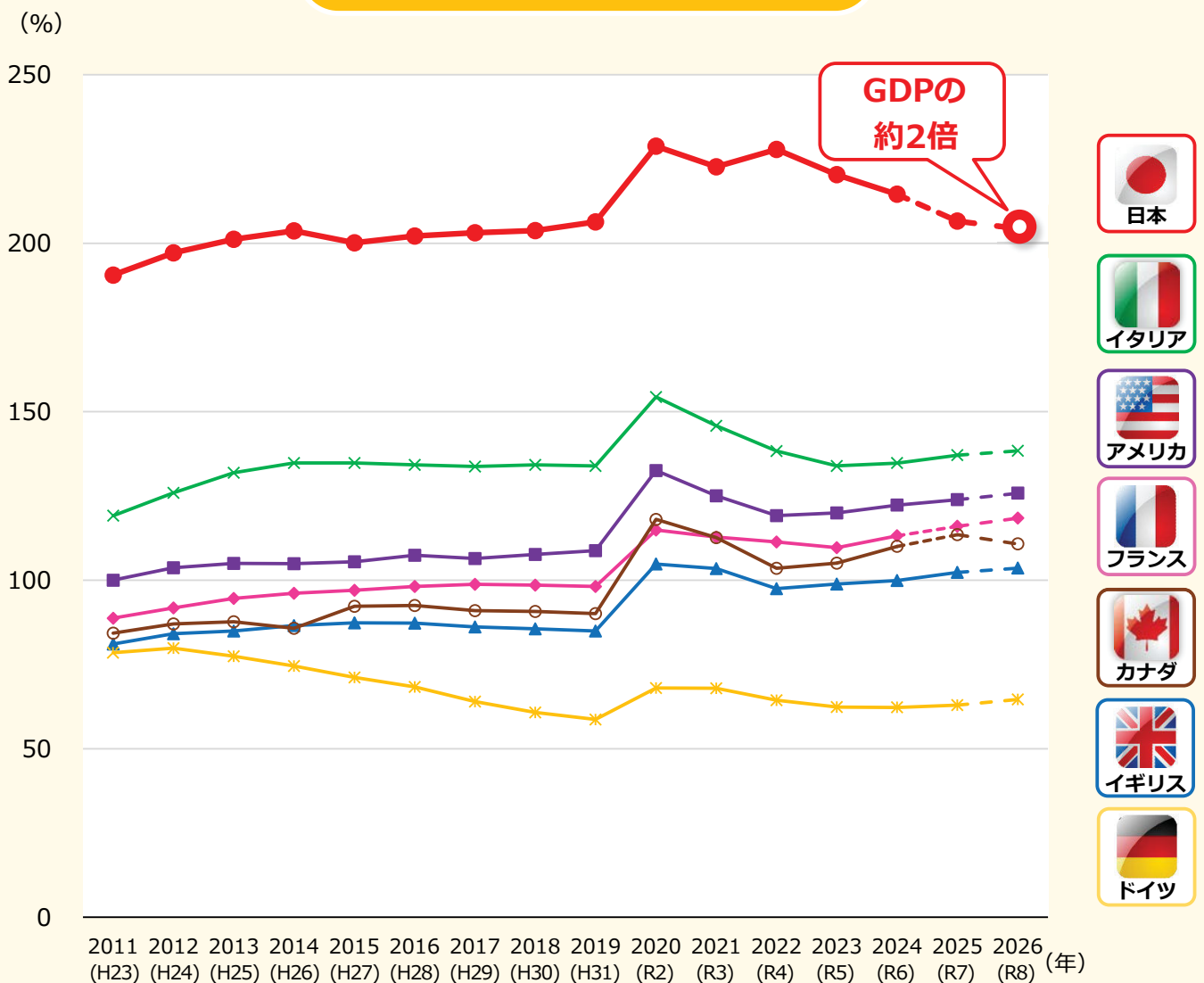
日本の借金を他の国と比べてみよう!



9. 借金の国際比較

- 日本の借金総額は、1年間の経済活動の規模（GDP）の約2倍に達しており、主要先進国の中で最悪の水準です。

借金の水準（借金総額÷GDP）



「GDP」とは

GDP（国内総生産）とは、国の1年間の経済活動の規模を表します。借金をどのくらい負担できるかは、税金を生み出す元となる国の経済規模で変わってくるため、他の国と比較する場合、GDPの大きさに対する割合で見ます。

借金にはどんな問題点があるの？



10. 「借金」の主な問題点

- 今の世代が借金をして、自分たちのために支出を行うと、こどもや孫、ひ孫など、将来の世代に負担を先送りすることになります。

負担の先送り

- ➔ 社会保障の給付と負担のアンバランスな状況をはじめ、借金返済の負担が先送りされることで、将来の国民が社会保障や教育など必要なものに使えるお金が減少したり、増税などによって負担が増加したりするおそれがあります。



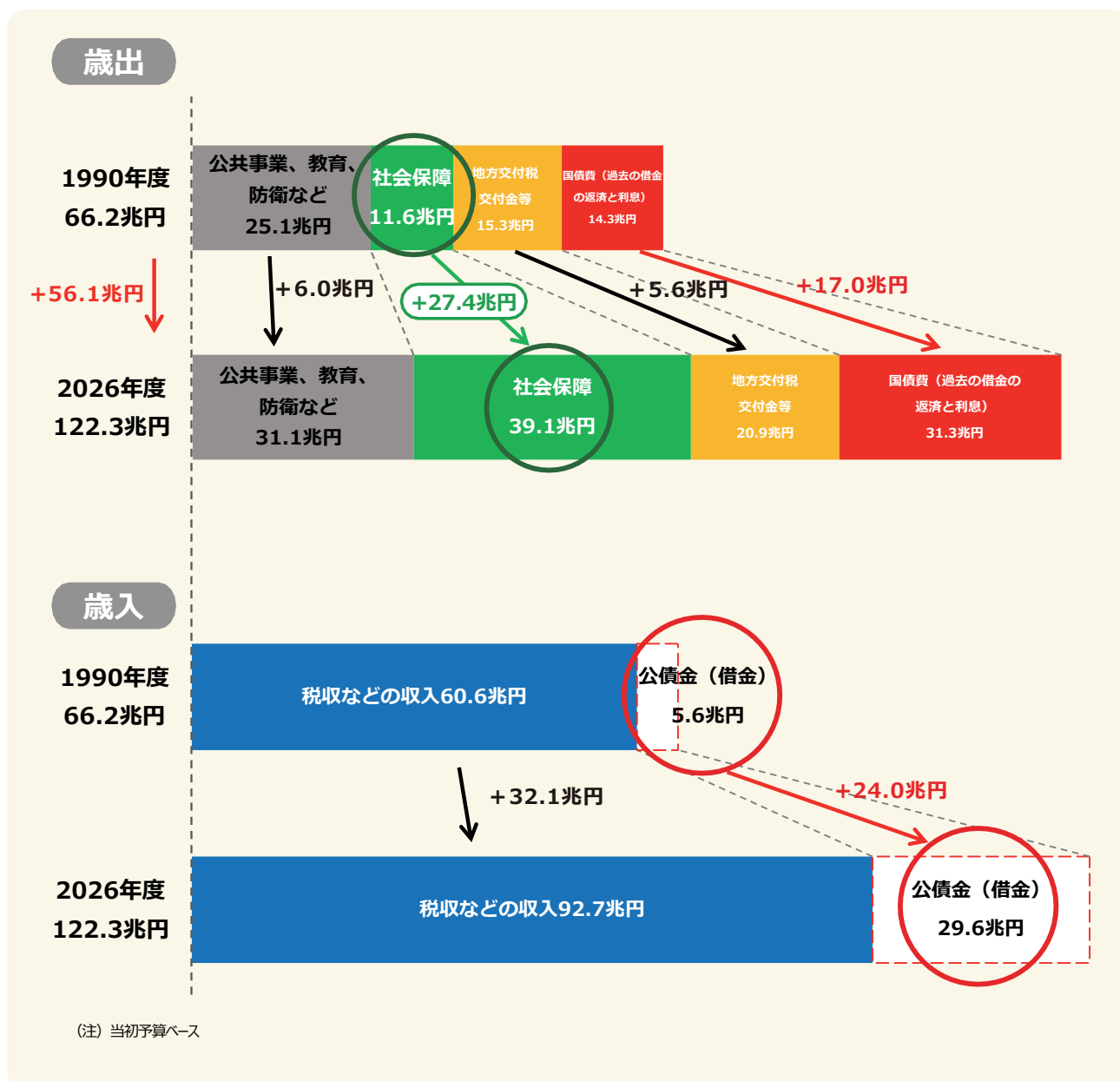
よりよく 財政の余力（ゆとり）が少なくなる

- ➔ 借金が膨らむと、自由に使えるお金が少なくなってしまう、大きな災害などによって多くのお金が必要となった場合に、すぐに対応できなくなってしまうおそれがあります。



11. なぜ「借金」が増えたのか

- 1990年度と現在の歳出を比べてみると、社会保障関係費や、過去の借金の返済や利息である国債費が大きく伸びています。
- 歳入をみると、税金などの収入は増えているものの、歳出の増加分には届いていないため、「新たな借金」が大きく増えています。



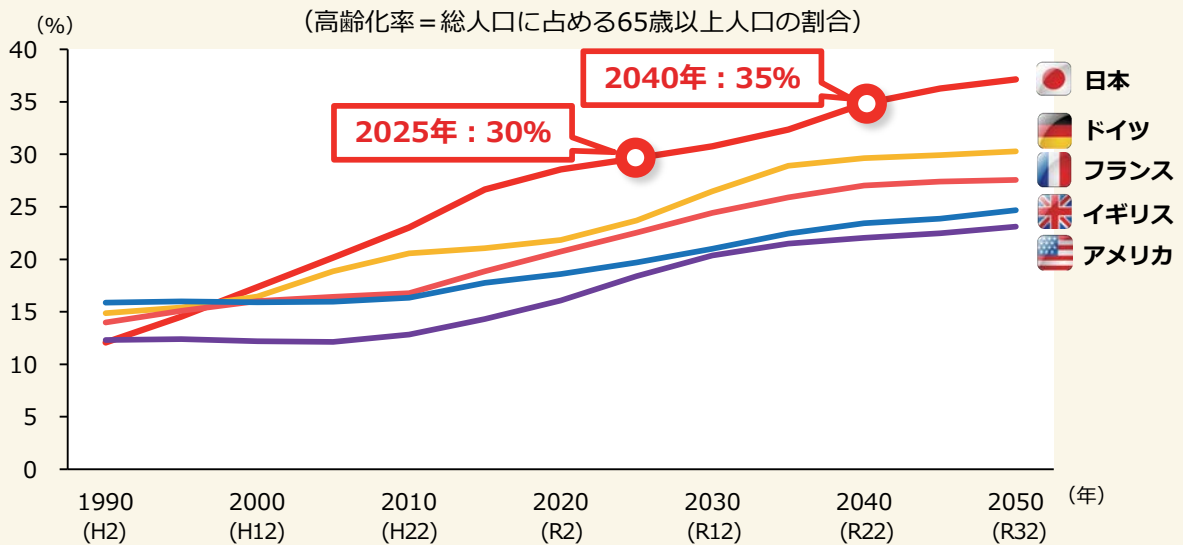
「社会保障」の費用はこれからどうなっていくの？



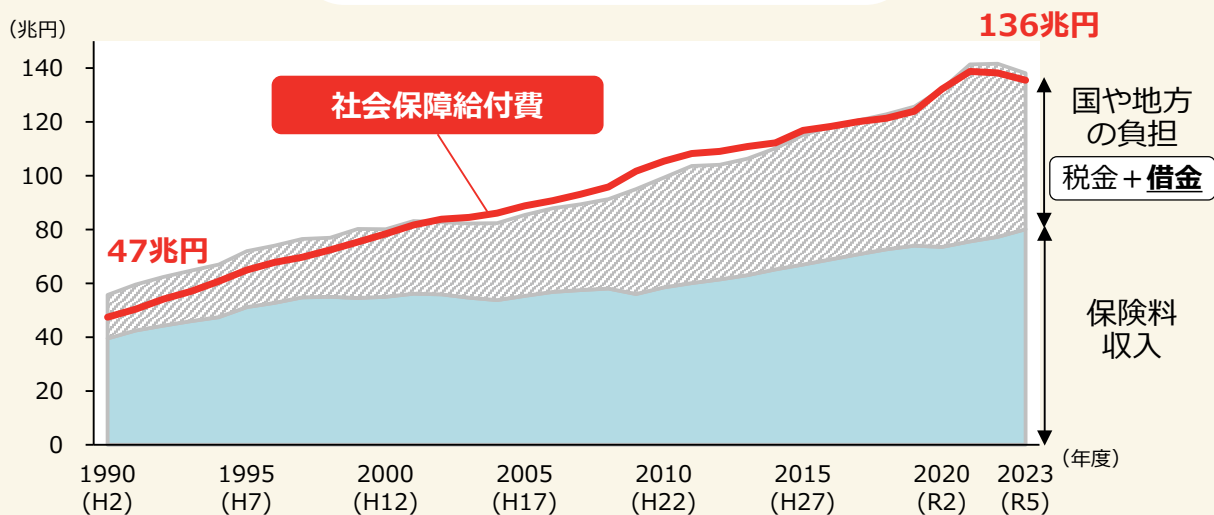
12. 高齢化と社会保障給付費の増加

- 日本は他国よりも速く高齢化が進んでいます。
- 高齢化などによって増え続ける社会保障給付費と社会保険料収入などとの差が、国や地方の支出増加の大きな原因です。

日本の高齢化率



社会保障給付費の増加



「社会保険」「社会保険料」とは

「社会保険」とは、病気や失業など人生の様々なリスクに備えて、人々があらかじめお金(=このお金を「社会保険料」と言います。)を出し合い、実際にリスクに直面した時に、必要なお金やサービスの給付を受けられるようにする仕組みです。

「社会保障給付費」とは

年金・医療・介護・子育てなど社会保障制度を通じて給付されるお金やサービスの合計額のことを言います。

社会保障制度はどうすれば維持できるの？

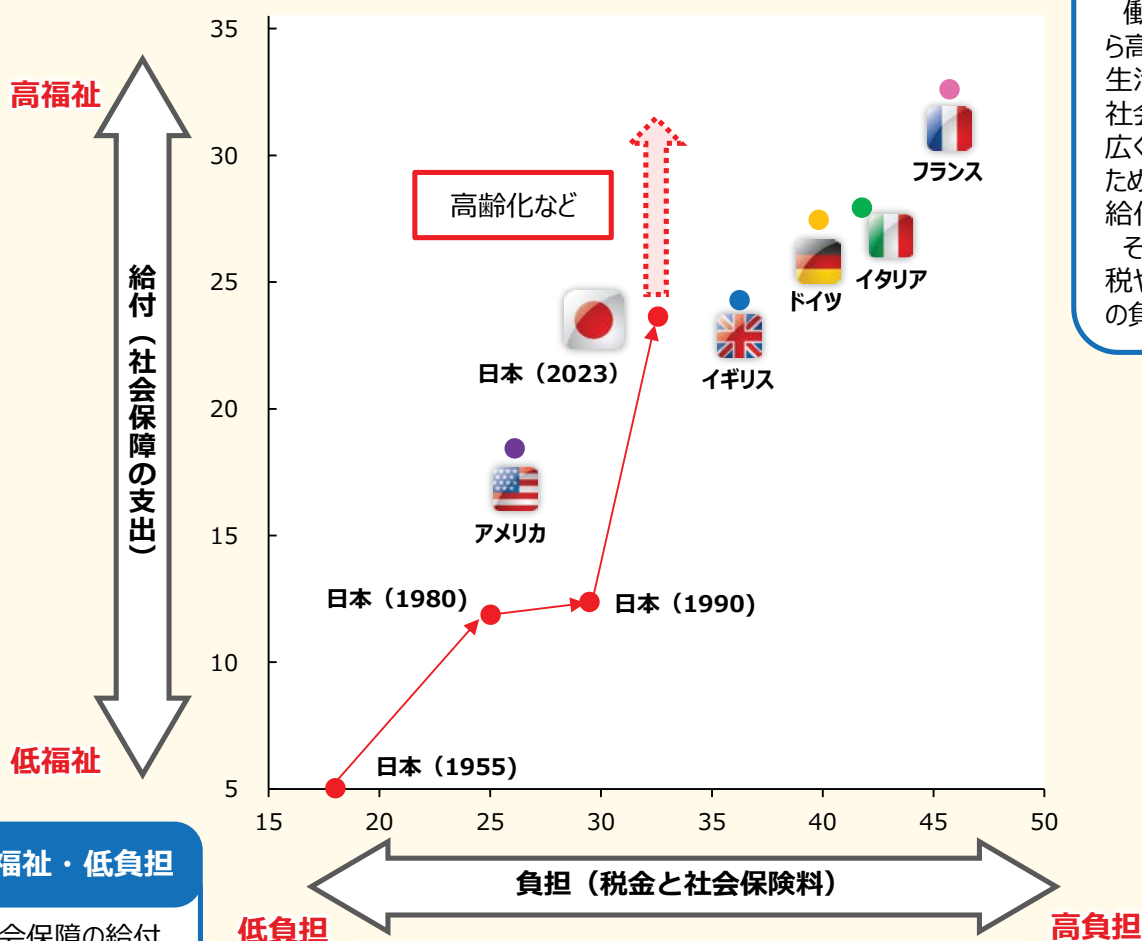


13. 社会保障の給付と負担の関係

- 他の主要先進国に比べて、日本の社会保障は「給付」(社会保障の支出)に対して「負担」(税金と社会保険料)が低くなっており、その状況は高齢化などの要因によって、今後もさらに進んでいくと見込まれています。
- 高齢化が進行する中での給付と負担のバランスについては、引き続き、国民全体で話し合っていくことが必要です。皆さんも社会保障の給付と負担を今後どうしていくか、考えてみましょう。

社会保障の給付と負担の関係

(対GDP比)



高福祉・高負担

働く世代向けから高齢者向けまで、生活上のリスクを社会保障制度が広くカバーしているため、社会保障の給付が多い。その分、国民の税や社会保険料の負担も大きい。

低福祉・低負担

社会保障の給付が少なく、その分国民の税や社会保険料の負担も小さい。

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

財務省ホームページ
<https://www.mof.go.jp>



財務省 検索

